

2. 地域の特性と課題を規定している基本的な条件とその関係

これまでみてきたように、くらしの場としての地域には、それぞれの地域によって特性と課題があった。このような、くらしの場としての地域の特徴と課題を基本的に規定しているのは、以下に述べる三つの条件である。

第一には、(ア)その地域にどのような仕事をしている世帯が生活しているのか、またその仕事の条件はどうなっているのか、そもそも就業しているのかどうかといった生計中心者の就業の有無や雇用労働条件（ここでは、この内容を「階層性」としている）を基本にして、住まいの状況はどうなっているのか、いのちのもとである水や食べ物の確保はどうなっているのか、道路や交通手段の状況などといった、社会保障・社会福祉の前提となる「く

表Ⅱ－18 階層構成別雇用労働の状況

	総 数	働 いて いる	他 人 を 3 人 以 上 雇 っ て い る	部 長 以 上 の 管 理 職	事 務 系 の 公 務 員	専 門 ・ 技 術 職	規 模 30 人 以 上 の 事 業 所 の 事 務 職 ・ 営 業 職	現 業 系 の 公 務 員	規 模 30 人 以 上 の 事 業 所 の 現 場 ・ 労 務 職	規 模 30 人 未 満 の 事 業 所 の 商 業 ・ サ ー ビ ス 業 に 雇 わ れ て い る	運 転 手 や 職 人	契 約 ・ 派 遣 ・ 嘱 託	臨 時 ・ 日 雇 い	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト
合 計	100% 823	68.0 560	2.4 20	1.1 9	4.6 38	3.3 27	5.5 45	2.4 20	6.7 55	0.9 7	0.5 4	2.3 19	1.2 10	2.9 24
経 営 者 層	100% 29	100.0 29	69.0 20	31.0 9										
ホワイトカラー層	100% 113	100.0 113			33.6 38	26.5 30	39.8 45							
ブルーカラー層	100% 75	100.0 75						26.7 20	73.3 55					
不安定雇用者層	100% 121	100.0 121								5.8 7	3.3 4	15.7 19	8.3 10	19.8 24
自 営 業 者 層	100% 222	100.0 222												
無 業 者 層	100% 263													

表Ⅱ－19 地域類型別にみた階層構成

	総 数	経 営 者 層	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	ブ ル ー カ ラ ー 層	不 安 定 雇 用 者 層	自 営 業 者 層	無 業 者 層
合 計	100% 823	3.5 29	13.7 113	9.1 75	14.7 121	27.0 222	32.0 263
I 人口密度が高く世帯数が減少している地域	100% 124	8.1 10	4.0 5	3.2 4	6.5 8	53.2 66	25.0 31
Ⅱ 人口密度がやや高く世帯数が減少している地域	100% 178	2.2 4	15.7 28	5.1 9	15.7 28	23.0 41	38.2 68
Ⅲ 人口密度は中位で世帯数が増加ないし横ばいの地域	100% 189	3.2 6	18.0 34	14.8 28	13.8 26	21.2 40	29.1 55
Ⅳ 人口密度は中位で世帯数が増加している地域	100% 72	4.2 3	30.6 22	29.2 21	22.2 16	9.7 7	4.2 3
V 人口密度低く世帯数は横ばいか低下している地域	100% 123	1.6 2	10.6 13	7.3 9	16.3 20	32.5 40	31.7 39
Ⅵ 人口密度低く世帯数減少している地域	100% 137	2.9 4	8.0 11	2.9 4	16.8 23	20.4 28	48.9 67

らしの基盤」がある。

次に、(イ)日頃からのくらしの場における対話と交流、協力などのヨコのつながりがどうなっているのか、となり近所とのつきあいやくらしのことで相談する相手や、くらしと健康をまもる地域活動への参加状況など、人間らしくくらす上でなくてはならない「くらしを支える条件」がある。

最後に(ウ)まちづくりを進めるための必要な、ヒト、モノ、カネの条件が、住民に身近な自治体行政の責任によって体系的に整備されているかどうかということである。

これら三つの条件の中でもっとも基本的な条件が「(ア)くらしの基盤」である。くらしの基盤は(イ)と(ウ)の条件も規定している。一方(イ)が乏しいと(ウ)の課題はあまり明確にならないという関係にある。

内職	林業	建設業	サービス業	製造業	運送業	農業	小売・商売	その他	働いていない	病 気	障 が い	老 齢	定 年	失 業	家 事	介 護	その他
0.1 1	1.1 9	5.0 41	4.6 38	2.7 22	0.5 4	5.5 45	5.8 48	1.9 16	32.0 263	3.9 32	1.8 15	16.2 133	12.5 103	1.1 9	1.0 8	1.1 9	1.9 16
0.8 1																	
	4.1 9	18.5 41	17.1 38	9.9 22	1.8 4	20.3 45	21.6 48	7.2 16									
									100.0 263	12.2 32	5.7 15	50.6 133	39.2 103	3.4 9	3.0 8	3.4 9	6.1 16

ここでは、生計中心者の仕事の有無やその条件や内容などを「階層」として分類し、分析を進める。具体的には、生計中心者の就業の有無と、従業状の地位、産業およびその業種や職種、事業所の規模(雇用されている労働者の人数)、雇用形態(常用、臨時・日雇い、パートタイマー)など、生計中心者の仕事を手がかりに6つの階層に区分している(表Ⅱ－18)。このように区分した階層構成とそれぞれの地域の関係は以下のとおりであった。(表Ⅱ－19)

- ・自ら事業を営む世帯が多い町
「Ⅰ 人口密度が高く世帯数が減少している地域」および、「Ⅴ 人口密度低く世帯数は横ばいか低下している地域」では「自営業者層」の割合がともに高いのが特徴である。なお、「Ⅰ 人口密度が高く世帯数が減少している地域」では、「経営者層」の割合も高く、合計すると自ら事業を営んでいる世帯が6割を超えているという特徴がある。また、両地域ともに「無業者層」の割合が高いのも特徴的であろう。
- ・雇用労働者世帯の多い町
「Ⅲ 人口密度は中位で世帯数が増加ないし横ばいの地域」、「Ⅳ 人口密度は中位で世帯数が増加している地域」では、「ホワイトカラー層」「ブルーカラー層」「不安定雇用者層」などの雇用労働者層が高い割合である。特に「Ⅳ 人口密度は中位で世帯数

が増加している地域」は顕著である。一方、「Ⅲ 人口密度は中位で世帯数が増加ないし横ばいの地域」では「無業者層」「自営業者層」の割合も高く、いわゆる新旧混在という地域の特徴をあらわしている。

・今は仕事に就いていない生計中心者の世帯の多い町
「Ⅱ 人口密度がやや高く世帯数が減少している地域」ならびに「Ⅵ 人口密度低く世帯数減少している地域」ではともに「無業者層」の割合、「自営業者層」の割合が高い。特に「Ⅵ 人口密度低く世帯数減少している地域」では「無業者層」が半数を占めている。一方、「Ⅱ 人口密度がやや高く世帯数が減少している地域」では、比較的安定した雇用条件にある「ホワイトカラー層」がやや高く、「Ⅵ 人口密度低く世帯数減少している地域」では、「不安定雇用者層」の割合が高いのが特徴である。

これらをふまえ、「(ア)くらしの基盤」、「(イ)くらしを支える条件」、「(ウ)国・自治体による社会保障・社会福祉」と、それぞれの関係を見る。

(1) くらしの基盤（社会保障・社会福祉の前提条件）
くらしの基盤に関しては以下の通りの結果であった。

① 就業構成（表Ⅱ－20）
「経営者層」では、生計中心者と配偶者という夫婦共働きの割合が約5割と高い。「生計中心者と配偶者と親」の割合が全体の値に比べて高い。「ホワイトカラー層」では、「生計中心者と配偶者」という夫婦共働きの割合が約4割と高い。「ブルーカラー層」でも、「生計中心者と配偶者」という夫婦共働きの割合が46.7%と高い割合。さらに「不安定雇用者層」でも、「生計中心者と配偶者」という夫婦共働きの割合が35.5%と高い割合。また「生計中心者と子」の割合が全体の値に比べて高い。「自営

業者層」では、「生計中心者と配偶者」という夫婦共働きの割合が35.1%と高い割合。このように働いている世帯では夫婦共働きが3割から4割にのぼる。また「自営業者」では「生計中心者と配偶者と子」「生計中心者と配偶者と親」の割合がそれぞれ全体の値に比べて高い。「無業者層」では、「働いている人はいない」の割合が75.3%と非常に高い割合となっている。

② 収入源（表Ⅱ－21）
「経営者層」では、収入源は「生計中心者の仕事による収入」に加え、「同居家族の仕事による収入」が約7割、「国民年金」が2割を占めている。「子ども手当・児童扶養手当」の割合が全体の値に比べて高い。「ホワイトカラー層」では、収入源は「生計中心者の仕事による収入」に加え、「同居家族の仕事による収入」が62.8%、「国民年金」が2割を占めている。「子ども手当・児童扶養手当」の割合が全体の値に比べて高い。「ブルーカラー層」では、収入源は「生計中心者の仕事による収入」に加え、「同居家族の仕事による収入」が約6割。「子ども手当・児童扶養手当」の割合が全体の値に比べて高い。「不安定雇用者層」では、「生計中心者の仕事による収入」に加え、「同居家族の仕事による収入」が63.6%、「国民年金」が24.8%、「厚生年金や恩給・共済組合などの年金」も約2割を占めている。「自営業者層」では、「生計中心者の仕事による収入」に加え、「同居家族の仕事による収入」が72.1%、「国民年金」が41.9%、「厚生年金や恩給・共済組合などの年金」も約2割を占めている。「無業者層」では、「国民年金」が71.5%、「厚生年金や恩給・共済組合などの年金」が42.6%を占めている。「預貯金」の割合が全体平均と比較して高い割合となっている。

表Ⅱ－20 階層構成別にみた就業者の構成（類型）

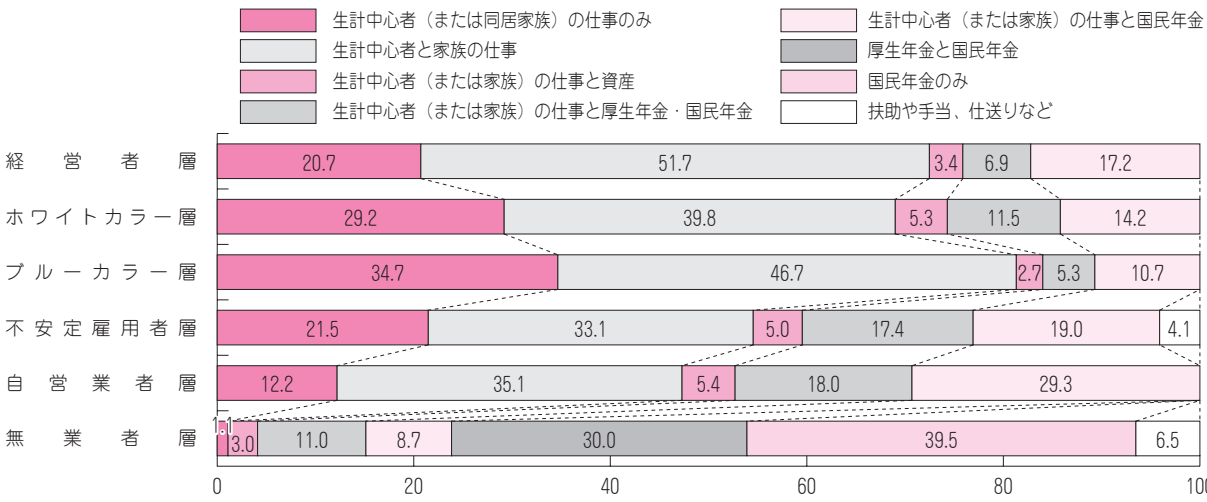
	総数	生計中心者のみ	生計中心者と配偶者	生計中心者と配偶者と子	生計中心者と子ども	生計中心者と配偶者と親	生計中心者と子、親や兄弟	働いている人はいない
合計	100% 823	22.8 188	28.1 231	8.4 69	10.0 82	3.2 26	3.5 29	24.1 198
経営者層	100% 29	31.0 9	48.3 14	6.9 2	6.9 2	6.9 2		
ホワイトカラー層	100% 113	37.2 42	38.9 44	9.7 11	7.1 8	5.3 6	1.8 2	
ブルーカラー層	100% 75	41.3 31	46.7 35	8.0 6	2.7 2		1.3 1	
不安定雇用者層	100% 121	36.4 44	35.5 43	5.8 7	14.0 17	3.3 4	5.0 6	
自営業者層	100% 222	27.9 62	35.1 78	17.1 38	9.0 20	6.3 14	4.5 10	
無業者層	100% 263		6.5 17	1.9 5	12.5 33		3.8 10	75.3 198

表Ⅱ－21－① 階層構成別にみた収入源（複数回答）

	総数	生計中心者の仕事による収入	その他の同居家族の仕事による収入	厚生年金や恩給・共済組合の年金	国民年金	失業給付	子ども手当・児童扶養手当	特別児童扶養手当・特別障害者手当等	生活保護	地代・家賃	利子・配当	預貯金	仕送り	その他
合計	100% 823	67.4 555	53.1 437	24.7 203	42.5 350	0.4 3	6.7 55	0.7 6	1.1 9	2.4 20	0.5 4	4.7 39	1.3 11	2.3 19
経営者層	100% 29	100.0 29	69.0 20	10.3 3	20.7 6		10.3 3				3.4 1			3.4 1
ホワイトカラー層	100% 113	100.0 113	62.8 71	14.2 16	20.4 23		11.5 13	0.9 1		1.8 2		3.5 4		0.9 1
ブルーカラー層	100% 75	100.0 75	58.7 44	5.3 4	13.3 10		21.3 16	1.3 1				2.7 2		2.7 2
不安定雇用者層	100% 121	100.0 121	63.6 77	19.8 24	24.8 30	0.8 1	6.6 8		1.7 2	2.5 3	1.7 2	2.5 3	2.5 3	1.7 2
自営業者層	100% 222	100.0 222	72.1 160	19.8 44	41.9 93		5.9 13	0.9 2		3.6 8		1.8 4		1.4 3
無業者層	100% 263		24.7 65	42.6 112	71.5 188	0.8 2	0.8 2	0.8 2	2.7 7	2.7 7	0.4 1	9.9 26	3.0 8	3.8 10

表Ⅱ－21－② 階層構成別にみた収入源（類型）

	総 数	生計 中心者 （ま たは同 居家 族） の 仕 事 の み	生計 中心者 と家 族の 仕 事	生計 中心者 （ま たは家 族） の 仕 事 と 資 産	生計 中心者 （ま たは家 族） の 仕 事 と 厚 生 年 金 ・ 国 民 年 金	生計 中心者 （ま たは家 族） の 仕 事 と 国 民 年 金	厚 生 年 金 と 国 民 年 金	国 民 年 金 の み	扶 助 や 手 当 ・ 仕 送 り な ど
合 計	100% 823	14.7 121	25.9 213	4.3 35	13.2 109	17.0 140	9.6 79	12.6 104	2.7 22
経 営 者 層	100% 29	20.7 6	51.7 15	3.4 1	6.9 2	17.2 5			
ホワイトカラー層	100% 113	29.2 33	39.8 45	5.3 6	11.5 13	14.2 16			
ブルーカラー層	100% 75	34.7 26	46.7 35	2.7 2	5.3 4	10.7 8			
不安定雇用者層	100% 121	21.5 26	33.1 40	5.0 6	17.4 21	19.0 23			4.1 5
自 営 業 者 層	100% 222	12.2 27	35.1 78	5.4 12	18.0 40	29.3 65			
無 業 者 層	100% 263	1.1 3		3.0 8	11.0 29	8.7 23	30.0 79	39.5 104	6.5 17



③ 勤務地（表Ⅱ－22）

「経営者層」では、南丹市内が自宅が約4割と高い割合。合計値と比較すると自宅と綾部市・丹波市・福知山市が高い割合。「ホワイトカラー層」では、南丹市内が約4割を超えて高い割合。合計値と比較すると京都市が高い割合。「ブルーカラー層」では、南丹市内が約5割と高い割合。合計値と比較すると南丹市内、京都市、亀岡市などが高い割合。「不安定雇用者層」では、南丹市内が約6割を超えて高い割合。合計値と比較すると南丹市内、亀岡市など近郊市が高い割合。「自営業者層」では、自宅が約65.8%と高い割合。自宅が高い割合。

(2) 年齢性別（表Ⅱ－23）

「経営者層」では、男性で45才～74歳が高く女性は55歳～64歳。合計の値と比較すると、性別では男性の割合が高く、性別年齢別では男性の55歳～74歳、女性の55歳～64歳までが高い割合。「ホワイトカラー層」では、男性45才以上65歳未満の割合、女性では35歳～54歳が高い割合。合計の値と比較すると性別では男性の割合が高く、性別

年齢別では男性では45歳～64歳、女性では35歳～54歳が高い割合を占めている。「ブルーカラー層」では、男女共に35才以上55歳未満の割合が高い割合。合計の値と比較すると性別では男性の割合が高く、性別年齢別では男性では25歳～54歳、女性では35歳～64歳と比較的若い世代が高い割合。「不安定雇用者層」では、男性では45才以上65歳未満の割合、女性では55歳～64歳が高い割合。合計の値と比較すると性別では男性の割合が高く、性別年齢別では男性では25歳～64歳、女性では25歳～34歳と55歳～64歳が高く。比較的若い世代が高い割合を占めている。「自営業者層」では、男性では55才以上75歳未満の割合、女性では55歳以上が高い割合。合計の値と比較すると性別では男性の割合が高く、性別年齢別では男性では55歳～74歳、女性では35歳～44歳と55歳～74歳が高い。「無業者層」では、男女ともに75才以上の割合が高い。合計の値と比較すると性別では女性の割合が高く、性別年齢別では男性では65歳以上が、女性では75歳以上が高い。

表Ⅱ－22 階層構成別にみた生計中心者の勤務先

	働いている 中心者の 総数	自宅	南丹市 内	京都市	亀岡市	長岡京市	福知山市 ・丹波市 ・綾部市	以外の京 都市府	高槻市	大阪市	以外の大 阪府	篠山市	福井県
合 計	100% 560	28.0 157	39.8 223	12.7 71	9.1 51	4.1 23	0.4 6	0.2 1	1.1 6	0.2 1	1.4 8	1.1 6	1.3 7
経 営 者 層	100% 29	31.0 9	37.9 11	13.8 4	3.4 1		6.9 2				3.4 1		3.4 1
ホワイトカラー層	100% 113	0.9 1	41.6 47	25.7 29	10.6 12	8.0 9	0.9 1		2.7 3		5.3 6	1.8 2	2.7 3
ブルーカラー層	100% 75		46.7 35	18.7 14	20.0 15	8.0 6			2.7 2			2.7 2	1.3 1
不安定雇用者層	100% 121	0.8 1	62.0 75	14.9 18	13.2 16	6.6 8	0.8 1		0.8 1			0.8 1	
自 営 業 者 層	100% 222	65.8 146	24.8 55	2.7 6	3.2 7		0.9 2	0.5 1		0.5 1	0.5 1	0.5 1	0.9 2

表Ⅱ－23 階層構成別性別年齢別構成

	総 数	男 性								女 性						
			25 歳 未 満	25 歳 ～ 34 歳	35 歳 ～ 44 歳	45 歳 ～ 54 歳	55 歳 ～ 64 歳	65 歳 ～ 74 歳	75 歳 以 上		25 歳 ～ 34 歳	35 歳 ～ 44 歳	45 歳 ～ 54 歳	55 歳 ～ 64 歳	65 歳 ～ 74 歳	75 歳 以 上
合 計	100% 823	(83.0) 683	1.2 8	4.5 31	12.4 85	19.2 131	26.9 184	16.4 112	19.3 132	(17.0) 140	0.7 1	7.1 10	6.4 9	12.9 18	22.1 31	50.7 71
経 営 者 層	100% 29	(96.6) 28		3.6 1	14.3 4	21.4 6	32.1 9	21.4 6	7.1 2	(3.4) 1				100.0 1		
ホワイトカラー層	100% 113	(92.0) 104		6.7 7	14.4 15	39.4 41	38.5 40	1.0 1		(8.0) 9		55.6 5	44.4 4			
ブルーカラー層	100% 75	(94.7) 71		12.7 9	33.8 24	29.6 21	21.1 15	1.4 1	1.4 1	(5.3) 4		25.0 1	25.0 1	50.0 2		
不安定雇用者層	100% 121	(86.8) 105	1.9 2	8.6 9	18.1 19	22.9 24	36.2 38	11.4 12	1.0 1	(13.2) 16	6.3 1	6.3 1	6.3 1	56.3 9	25.0 4	
自 営 業 者 層	100% 222	(93.2) 207	0.5 1	1.9 4	10.6 22	17.4 36	30.4 63	22.7 47	16.4 34	(6.8) 15		13.3 2	6.7 1	20.0 3	26.7 4	33.3 5
無 業 者 層	100% 263	(63.9) 168	3.0 5	0.6 1	0.6 1	1.8 3	11.3 19	26.8 45	56.0 94	(36.1) 95		1.1 1	2.1 2	3.2 3	24.2 23	69.5 66

(3) くらしを支える条件

身近なくらしの場である地域では、日常的な対話と交流に基づいた、くらしに根ざした自主的な参加と自治がまちづくりの基本であり、くらしを支える条件である。以下は階層構成別にみた、くらしを支える条件についての結果である。

① 近所づきあい、相談相手、地域活動

（表Ⅱ－24、表Ⅱ－25、表Ⅱ－26－①、②、③、④）

「経営者層」では、近所づきあいでは「くらしのことで助け合っている」が69％と高く、「冠婚葬祭」100％、「自分の家で作ったものをわけあう」60％、「困りごとや悩みを相談し合う」50％などが高い割合。合計値と比較しても「緊急時の連絡や援助」「お年寄りや子どもの世話を頼む」などの項目が高い。また、相談相手は「いる」が82.8％。具体的には「配偶者」70.8％が高い。合計値と比較すると「いない」の割合が高く、いる場合は「配偶者」「きょうだい」といった身内、「職場の上司」「市役所・支所の職員」などが高い。活動に「参加している」は93.1％と高い割合。具体的には「町内会自治会」92.6％、「女性会・婦人会」51.9「まちづくりやむらおこし」37％などの項目が高い割合。合計値と比較すると、「参加している」の割合が高く、「町内会・自治会」「女性会・婦人会」「子ども会・青年団」「PTA」「まちづくりやむらおこし」「生活協同組合」「環境保護の活動」「人権擁護の活動」などが高い割合の項目が多いのが特徴。また、ボランティア活動に関しては「若い人の参加が少ない」42.9％、「実際に活動している人が少ない」「交通費や活動費の確保が困難」28.6％などが高い割合である。

「ホワイトカラー層」では、近所づきあいでは「くらしのことで助け合っている」が60.2％。具体的には「冠婚葬祭」100％、「自分の家で作ったものをわけあう」

61.8％が高い割合。合計値と比較すると「挨拶をする」の割合が高い。つきあいの内容としては「留守を頼む」が高い。相談相手は「いる」が95.6％。具体的には「配偶者」62％、「親」33.3％などが高い割合。合計値と比較すると「いる」の割合が高く、「配偶者」「親」「きょうだい」といった身内、「知人・友人」「職場の上司」などが高い。活動に「参加している」は87.6％。具体的には「町内会自治会」83.8％、「女性会・婦人会」33.3％などが高い割合。合計値と比較すると、「参加している」の割合が高く、「町内会・自治会」「女性会・婦人会」「子ども会・青年団」「PTA」「地域のスポーツ活動」「生活協同組合」などが高い割合の項目が多いのが特徴。ボランティア活動に関しては「若い人の参加が少ない」33.3％、「住民の取組だけではどうすることもできない問題が多い」28.6％などが高い。

「ブルーカラー層」では、近所づきあいでは「くらしのことで助け合っている」が66.7％。具体的には「冠婚葬祭」100％、「自分の家で作ったものをわけあう」58％が高い割合。合計値と比較すると「緊急時の連絡や援助」「買い物を引き受ける」「お年寄りや子どもの世話を頼む」などの項目が高い。相談相手は「いる」が90.7％。具体的には「配偶者」69.1％、「親」41.2％が高い。合計値と比較すると「配偶者」「親」といった身内にくわえ「知人・友人」「近所の人」「職場の上司」「保育所などの社会福祉施設の職員」などが高い割合となっている。活動に「参加している」は80％。具体的には「町内会自治会」83.3％、「PTA」35％などが高い割合。合計値と比較すると、「参加していない」割合が高い。参加している活動では「子ども会・青年団」「PTA」「消防団」「地域のスポーツ活動」などが高い割合。ボランティア活動に関しては「公民館」が活動拠点である割合が41.7％と高く、活動内容については「若い人の参加が少ない」50％、「実際に活動している人が少ない」41.7％が高い割合である。

「不安定雇用者層」では、近所づきあいでは「くらしのことで助け合っている」が59.5％。具体的には「冠婚葬祭」100％、「自分の家で作ったものをわけあう」59.7％が高い割合。合計値と比較すると「挨拶をする程度」が高い。たすけあっている内容としては「お年寄りの話し相手」「買い物を引き受ける」が高い。相談相手は「いる」が95％。具体的には「配偶者」51.3％が高い。合計値と比較すると「親」「同居の子ども」といった身内にくわえ「知人・友人」が高い割合。活動に「参加している」は86％。具体的には「町内会自治会」81.7％が高い。合計値と比較すると、「消防団」のみが高く、残りは同じか低い値のことが多い。ボランティア活動では、若い人の参加が少ない」と「実際に活動している人が少ない」がともに29.2％高い割合である。

「自営業者層」では、近所づきあいでは「くらしのことで助け合っている」が69.8％。具体的には「冠婚葬祭」99.4％、「自分の家で作ったものをわけあう」61.9％が高い割合。合計値と比較すると「くらしのことで助け合っている」が高いが、具体的内容としては同じ値か低いものが多い。相談相手は「いる」が90.1％。具体的には「配偶者」の61％が高い。合計値と比較すると「配偶者」「同居の子ども」「同居していない子ども」といった身内の項目が多いのが特徴。活動に「参加している」は87.8％と高い。具体的には「町内会自治会」82.6％、「老人クラブ」31.3％、「女性会・婦人会」33.3％などが高い割合。合計値と比較すると、「参加している」割合が高く、具体的には「女性会・婦人会」「消防団」などの地域自治活動、「農業協同組合」「業

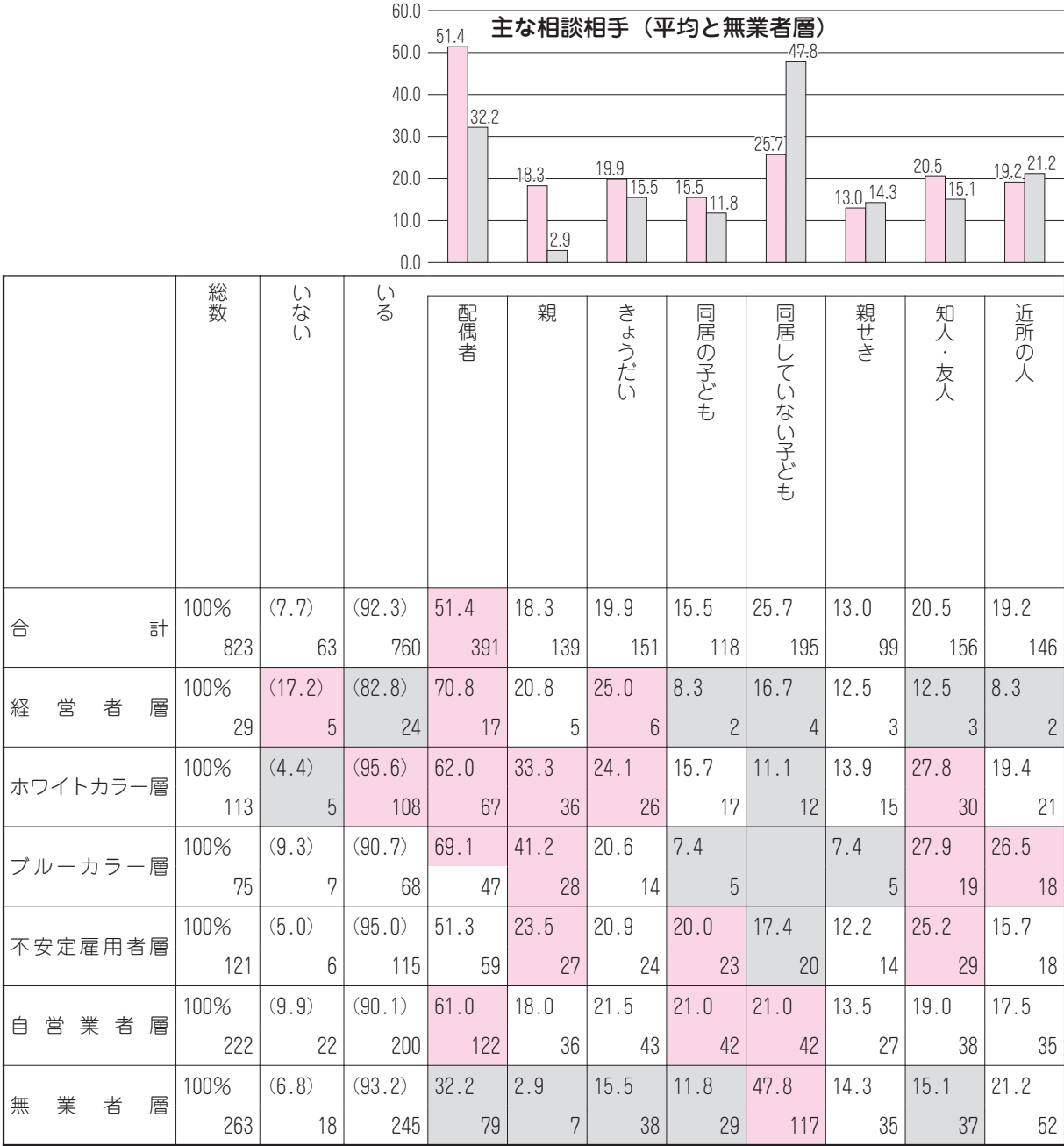
表Ⅱ－24 階層構成別にみた近所づきあい（助け合っている内容は複数回答）

	総 数	ほ ん と づ き あ っ て い る	挨 拶 を す る 程 度	く ら し の こ と で 助 け 合 っ て い る	冠 婚 葬 祭 や 病 人 の 見 舞 い	自 分 の 家 で つ く っ た も の を わ け あ う	困 り ご と や 悩 み を 相 談 し 合 う	緊 急 時 の 連 絡 や 援 助	家 に あ が り こ ん ど づ き あ い を し て い る	お 年 寄 り の 話 し 相 手	留 守 を 頼 む	買 い 物 を 引 き 受 け る	お 年 寄 り や 子 ど も の 世 話 を 頼 む	送 迎 ・ 乗 り 合 い	雪 か き や 除 草 ・ ゴ ミ 出 し
合 計	100% 823	(3.0) 25	(31.6) 260	(65.4) 538	99.8 537	61.9 333	48.1 259	40.5 218	38.8 209	26.0 140	24.5 132	16.7 90	9.7 52	1.5 8	1.1 6
経 営 者 層	100% 29		(31.0) 9	(69.0) 20	100.0 20	60.0 12	50.0 10	45.0 9	40.0 8	20.0 4	10.0 2	15.0 3	15.0 3		5.0 1
ホワイトカラー層	100% 113	(1.8) 2	(38.1) 43	(60.2) 68	100.0 68	61.8 42	47.1 32	41.2 28	41.2 28	17.6 12	29.4 20	7.4 5	10.3 7	1.5 1	2.9 2
ブルーカラー層	100% 75	(2.7) 2	(30.7) 23	(66.7) 50	100.0 50	58.0 29	44.0 22	46.0 23	38.0 19	18.0 9	14.0 7	24.0 12	16.0 8		
不安定雇用者層	100% 121	(3.3) 4	(37.2) 45	(59.5) 72	100.0 72	59.7 43	44.4 32	41.7 30	34.7 25	31.9 23	26.4 19	25.0 18	9.7 7		1.4 1
自 営 業 者 層	100% 222	(1.4) 3	(28.8) 64	(69.8) 155	99.4 154	61.9 96	43.9 68	39.4 61	34.2 53	25.8 40	25.8 40	13.5 21	11.6 18	0.6 1	
無 業 者 層	100% 263	(5.3) 14	(28.9) 76	(65.8) 173	100.0 173	64.2 111	54.9 95	38.7 67	43.9 76	30.1 52	25.4 44	17.9 31	5.2 9	3.5 6	1.2 2

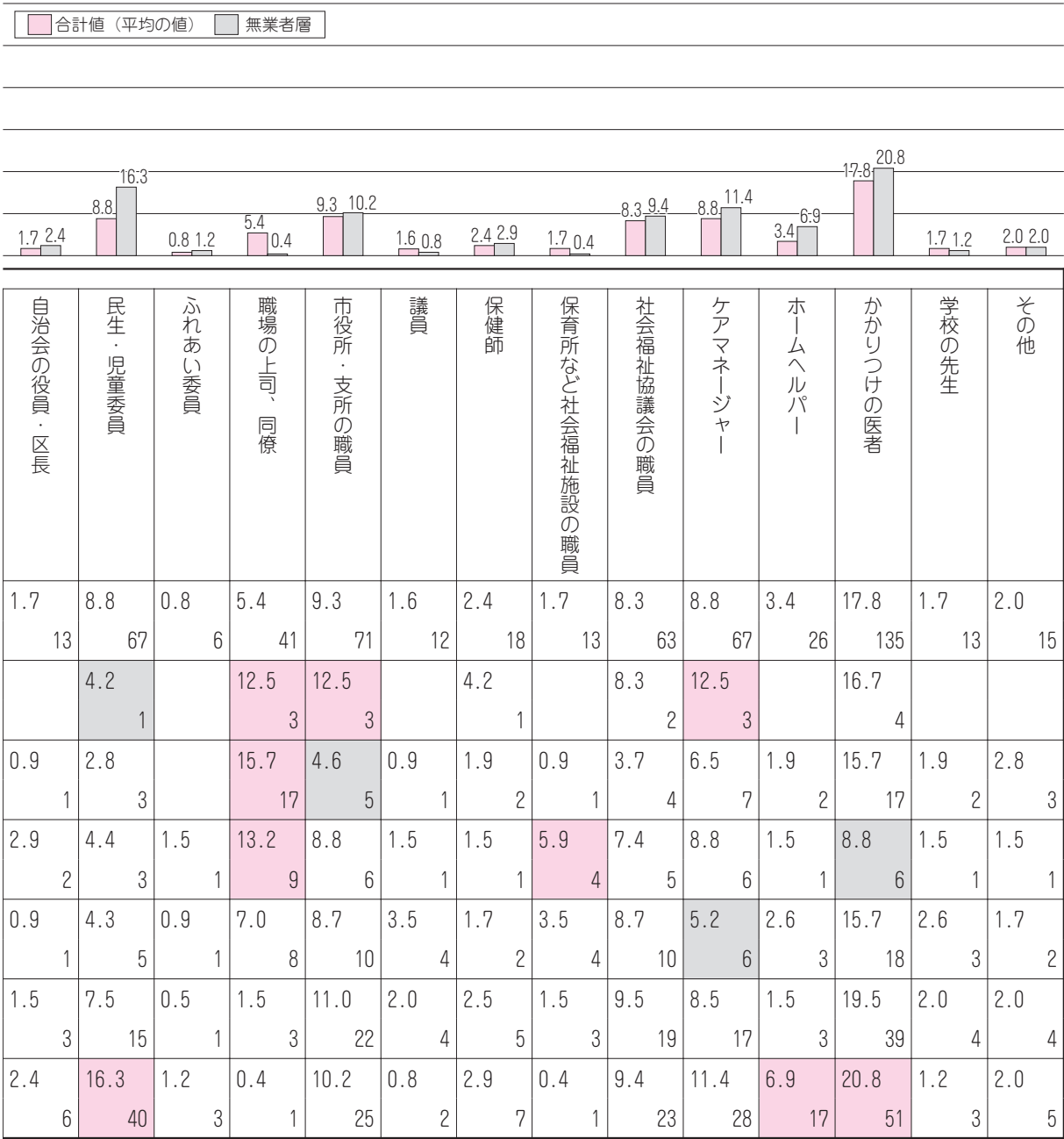
者団体」、さらには「趣味娯楽の集まり」「地域のスポーツ活動」「まちづくりやむらおこし」など高い割合の項目が多い。ボランティア活動に関しては「若い人の参加が少ない」25%、「いつまで活動が続けられるか自分の健康が心配」19.2などが比較的高い割合であるり、「特にない」も30.8%と高い。

「無業者層」では、近所づきあいは「くらしのことで助け合っている」が65.8%。具体的には「冠婚葬祭」100%、「自分の家でつくったものをわけあう」64.2%、「困りごとや悩み事を相談し合う」54.9%が高い割合。合計値と比較すると「困りごとや悩み事を相談し合う」、「家にあがりこんでつきあいをしている」「お年寄りの話し相手」などが高い。相談相手は「いる」が93.2%。具体的には「同居していない子

表Ⅱ－25 階層構成別にみた相談相手（複数回答）



ども」47.8%、「配偶者」32.2%が高い割合。合計値と比較すると「同居していない子ども」といった身内に加え、「民生・児童委員」「ホームヘルパー」「かかりつけの医者」などの専門職が多いのが特徴。活動に「参加している」は79.8%。具体的には「町内会自治会」74.3%、「老人クラブ」50.5%が5割を超えている。合計値と比較すると、「参加していない」割合が高く、参加している活動で老人クラブが高いが、町内会などはじめ多くの活動が低い割合。ボランティア活動に関しては「若い人の参加が少ない」28%、「実際に活動している人が少ない」20%などが比較的高い割合である、「特にない」も34%と高い。



表Ⅱ－26－① 階層構成別にみた参加している活動（複数回答）

	総 数	い 参 加 し て い な い	参 加 し て い る	治 会 町 内 会 ・ 自 治 会	老 人 ク ラ ブ	人 会 女 性 会 ・ 婦 人 会	青 年 団 子 ど も 会 ・ 学 生 会	P T A	消 防 団	合 農 業 協 同 組	趣 味 ・ 娯 楽 の 集 ま り
合 計	100% 823	(15.6) 128	(84.4) 695	80.6 560	32.2 224	25.8 179	12.7 88	14.4 100	16.4 114	23.7 165	23.0 160
経 営 者 層	100% 29	(6.9) 2	(93.1) 27	92.6 25	18.5 5	51.9 14	18.5 5	25.9 7	11.1 3	25.9 7	18.5 5
ホワイトカラー層	100% 113	(12.4) 14	(87.6) 99	83.8 83	23.2 23	33.3 33	23.2 23	24.2 24	18.2 18	22.2 22	17.2 17
ブルーカラー層	100% 75	(20.0) 15	(80.0) 60	83.3 50	11.7 7	21.7 13	30.0 18	35.0 21	23.3 14	20.0 12	18.3 11
不安定雇用者層	100% 121	(14.0) 17	(86.0) 104	81.7 85	21.2 22	18.3 19	15.4 16	14.4 15	23.1 24	18.3 19	21.2 22
自 営 業 者 層	100% 222	(12.2) 27	(87.8) 195	82.6 161	31.3 61	33.3 65	11.3 22	15.4 30	24.1 47	26.7 52	27.2 53
無 業 者 層	100% 263	(20.2) 53	(79.8) 210	74.3 156	50.5 106	16.7 35	1.9 4	1.4 3	3.8 8	25.2 53	24.8 52

表Ⅱ－26－② 階層構成別にみた参加している活動（類型）

	総 数	い 参 加 し て い な い	参 加 し て い る	町 内 会 の み	生 協 ・ 業 者 団 体	趣 味 ・ ス ポ ー ツ	老 人 ・ 青 年 ・ 子 ど も ・ P T A な ど	ア ・ N P O な ど	ボ ラ ン ティ ア ・ N P O な ど	く ら し に 関 する 学 習 会 な ど
合 計	100% 823	(15.6) 128	(84.4) 695	19.1 133	11.8 82	7.9 55	40.3 280	14.0 97	6.9 48	6.9 48
経 営 者 層	100% 29	(6.9) 2	(93.1) 27	22.2 6	3.7 1	3.7 1	40.7 11	11.1 3	18.5 5	18.5 5
ホワイトカラー層	100% 113	(12.4) 14	(87.6) 99	20.2 20	9.1 9	9.1 9	41.4 41	12.1 12	8.1 8	8.1 8
ブルーカラー層	100% 75	(20.0) 15	(80.0) 60	23.3 14	8.3 5	11.7 7	38.3 23	11.7 7	6.7 4	6.7 4
不安定雇用者層	100% 121	(14.0) 17	(86.0) 104	26.9 28	5.8 6	9.6 10	35.6 37	17.3 18	4.8 5	4.8 5
自 営 業 者 層	100% 222	(12.2) 27	(87.8) 195	12.3 24	15.9 31	6.7 13	42.1 82	14.9 29	8.2 16	8.2 16
無 業 者 層	100% 263	(20.2) 53	(79.8) 210	19.5 41	14.3 30	7.1 15	41.0 86	13.3 28	4.8 10	4.8 10

表Ⅱ－26－③ 階層構成別にみたボランティア・NPOの活動の場所（複数回答）

	ボ ラ ン ティ ア ・ N P O の 活 動 の 場 所 （ 複 数 回 答 ）	公 民 館	小 学 校	老 人 福 祉 セ ン タ ー	市 役 所 ・ 支 所	コ ミュ ニ ティ セ ン タ ー	会 集 会 所 ・ 自 治 振 興 会	図 書 館	中 学 校	保 育 所	町 民 セ ン タ ー	勤 労 者 福 祉 会 館	そ の 他	決 ま っ て い な い	活 動 の 拠 点 が な い
合 計	100% 166	24.1 40	14.5 24	4.2 7	4.8 8	9.6 16	19.3 32	1.2 2	3.0 5	2.4 4	6.6 11	0.6 1	12.0 20	6.0 10	1.2 2
経 営 者 層	100% 7	28.6 2	14.3 1		14.3 1		14.3 1		14.3 1		14.3 1		28.6 2		
ホワイトカラー層	100% 21	19.0 4	23.8 5	4.8 1	9.5 2	4.8 1	28.6 6	4.8 1	4.8 1	4.8 1	4.8 1		4.8 1	4.8 1	
ブルーカラー層	100% 12	41.7 5	33.3 4			8.3 1	16.7 2			8.3 1					
不安定雇用者層	100% 24	20.8 5	8.3 2		4.2 1	12.5 3	12.5 3	4.2 1			4.2 1		12.5 3	8.3 2	
自 営 業 者 層	100% 52	19.2 10	15.4 8	5.8 3	5.8 3	13.5 7	19.2 10		5.8 3		7.7 4	1.9 1	13.5 7	7.7 4	1.9 1
無 業 者 層	100% 50	28.0 14	8.0 4	6.0 3	2.0 1	8.0 4	20.0 10			4.0 2	8.0 4		14.0 7	6.0 3	2.0 1

し や む ら お こ ま ち づ く り	ポ ー ツ 活 動	地 域 の ス ポ ー ツ	ボ ラ ン ティ ア 活 動	合 生 活 協 同 組	活 動 業 者 団 体 の	消 費 者 保 護 の 活 動	動 N P O の 活 動	環 境 保 護 の 活 動	人 権 擁 護 の 活 動	習 会 自 主 的 な 学 習	く ら し や 健 康 に 関 する	そ の 他
20.4 142	19.9 138	19.3 134	15.7 109	4.5 31	0.6 4	4.6 32	8.2 57	4.7 33	2.6 18	0.7 5		
37.0 10	22.2 6	18.5 5	29.6 8	7.4 2		7.4 2	14.8 4	18.5 5		3.7 1		
18.2 18	23.2 23	17.2 17	28.3 28	2.0 2		4.0 4	10.1 10	6.1 6	3.0 3			
23.3 14	28.3 17	18.3 11	18.3 11	1.7 1		1.7 1	1.7 1	6.7 4		1.7 1		
22.1 23	17.3 18	17.3 18	11.5 12	1.0 1		5.8 6	8.7 9	1.9 2	2.9 3	1.0 1		
25.6 50	24.1 47	20.5 40	12.8 25	11.3 22	2.1 4	6.2 12	10.3 20	6.2 12	3.1 6			
12.9 27	12.9 27	20.5 43	11.9 25	1.4 3		3.3 7	6.2 13	1.9 4	2.9 6	1.0 2		

表Ⅱ－26－④ 階層構成別にみたボランティア・NPOの活動で困っていること（複数回答）

	ボランティア・NPO活動へ参加している世帯総数	実際に活動している人が少ない	若い人の参加が少ない	活動に参加した人が長続きしない	活動をしているグループ・団体内の人間関係が難しい	グループ・団体の世話をしてくれる人やリーダーが不足	身近なところで活動できる施設や拠点がない	交通費や活動費の確保が困難	活動についての情報が少ない	活動に関する研修・訓練や学習の機会が少ない	住民の取り組みに頼りすぎている	住民の取り組みだけではどうすることもできない問題が多い	他のグループ・団体と交流する機会が少ない	健康が心配	その他	とくにない
合 計	100% 166	22.9 38	30.1 50	7.2 12	6.6 11	10.2 17	7.2 12	11.4 19	3.6 6	2.4 4	4.2 7	9.6 16	4.2 7	9.6 16	7.8 13	28.9 48
経 営 者 層	100% 7	28.6 2	42.9 3	14.3 1		14.3 1		28.6 2							14.3 1	14.3 1
ホワイトカラー層	100% 21	23.8 5	33.3 7	14.3 3	4.8 1	19.0 4	4.8 1	14.3 3	4.8 1	9.5 2		28.6 6	4.8 1	4.8 1	4.8 1	23.8 5
ブルーカラー層	100% 12	41.7 5	50.0 6	25.0 3		8.3 1	8.3 1				8.3 1					25.0 3
不安定雇用者層	100% 24	29.2 7	29.2 7	8.3 2	12.5 3	8.3 2	8.3 2	16.7 4			8.3 2	4.2 1		4.2 1	16.7 4	25.0 6
自 営 業 者 層	100% 52	17.3 9	25.0 13	3.8 2	11.5 6	9.6 5	7.7 4	7.7 4	3.8 2	3.8 2	5.8 3	13.5 7	9.6 5	19.2 10	7.7 4	30.8 16
無 業 者 層	100% 50	20.0 10	28.0 14	2.0 1	2.0 1	8.0 4	8.0 4	12.0 6	6.0 3		2.0 1	4.0 2	2.0 1	8.0 4	6.0 3	34.0 17

② 相談相手・地域活動と近所づきあい（表Ⅱ－27、表Ⅱ－28）

相談相手の類型別に近所づきあいをみると、「いない」世帯では、近所づきあいは「挨拶をする程度」が5割にのぼる。また、「ほとんどつきあっていない」世帯は15.9％である。相談相手が「身内のみ」の世帯では「くらしのことで助け合っている」が56.6％であるが、「挨拶をする程度」が4割である。

さらに、地域活動別に近所づきあいをみてみると、「参加していない」世帯では「挨拶をする程度」が5割。合計値と比較すると「ほとんどつきあっていない」「挨拶をする程度」が高い割合である。「町内会のみ」の活動でも、「くらしのことで助け合っている」が57.9％と高い割合であるが、合計値と比較すると「挨拶をする程度」が高い割合となっている。

「業者団体など」に参加している類型、「趣味・スポーツ」の活動に参加している類型、「老人・成年・女性・子ども・PTA」などの地域活動に参加している類型、「ボランティアやNPOなど」の活動に参加している類型、「くらしに関する学習会など」に参加している類型では、順次「くらしのことで助け合っている」割合が増加していく傾向にある。

表Ⅱ－27 相談相手の類型別にみた近所づきあい

	総 数	ほとん どつきあ ってない	挨拶を する程 度	くらしの ことで助 け合っ ている
合 計	100% 823	3.0 25	31.6 260	65.4 538
い な い	100% 63	15.9 10	49.2 31	34.9 22
身 内 の み	100% 295	3.4 10	40.0 118	56.6 167
市役所や専門職のみ	100% 43	2.3 1	23.3 10	74.4 32
身内と知人・友人	100% 203	1.0 2	12.8 26	85.2 173
身内と地域の方や専門職など	100% 219	0.9 2	34.2 75	64.8 142

表Ⅱ－28 活動類型別にみた近所づきあい

	総 数	ほとん どつきあ ってない	挨拶を する程 度	くらしの ことで助 け合っ ている
合 計	100% 823	3.0 25	31.6 260	65.4 538
参加していない	100% 128	8.6 11	50.8 65	40.6 52
町 内 会 の み	100% 133	3.8 5	38.3 51	57.9 77
業 者 団 体 な ど	100% 82	3.7 3	29.3 24	67.1 55
趣 味 ・ ス ポ ー ツ	100% 55	3.6 2	27.3 15	69.1 38
老人・青年・女性・子ども・PTAなど	100% 280	1.4 4	27.1 76	71.4 200
ボランティアやNPOなど	100% 97		23.7 23	76.3 74
くらしに関する学習会など	100% 48		12.5 6	87.5 42

③ 地域活動と相談相手（表Ⅱ－29）

地域活動に「参加していない」及び「町内会のみ」の類型では、相談できる人が「いる」とする割合は88％前後であるが、その内訳は「身内のみ」が4割。合計値と比較すると「相談できる人がいない」割合が高い。また、「趣味・スポーツ」もほぼ同じ傾向となっている。一方「ボランティアやNPOなど」「くらしに関する学習会など」に参加している類型では、相談できる人が「いない」割合は低く、相談できる人では「身内と地域の方や専門職など」広がりがみられる。

表Ⅱ－29 活動類型別にみた相談相手（類型）

	総 数	相 談 で き る 人 い な い	い る	身 内 の み	み 市役所や専門職の	身内と知人・友人	身内と地域の方や専門職など
合 計	100% 823	(7.7) 63	(92.3) 760	38.8 295	5.7 43	28.8 219	26.7 203
参加していない	100% 128	(11.7) 15	(88.3) 113	46.9 53	9.7 11	26.5 30	16.8 19
町 内 会 の み	100% 133	(12.8) 17	(87.2) 116	40.5 47	2.6 3	28.4 33	28.4 33
業 者 団 体 な ど	100% 82	(6.1) 5	(93.9) 77	40.3 31	3.9 3	31.2 24	24.7 19
趣 味 ・ ス ポ ー ツ	100% 55	(9.1) 5	(90.9) 50	52.0 26	2.0 1	24.0 12	22.0 11
老人・青年・女性・子ども・PTAなど	100% 280	(6.1) 17	(93.9) 263	35.7 94	6.1 16	31.2 82	27.0 71
ボランティアやNPOなど	100% 97	(1.0) 1	(99.0) 96	32.3 31	7.3 7	28.1 27	32.3 31
くらしに関する学習会など	100% 48	(6.3) 3	(93.8) 45	28.9 13	4.4 2	24.4 11	42.2 19

(4) 国・自治体の責任による条件の整備

社会保障・社会福祉とまちづくりに関する国・自治体の基本的な役割は、身近な地域に、誰もが使いやすい条件で、必要な施設やサービスが整備、配置されているのか。必要な方に利用されているのか。また、住民同士が集い、活動を進める場所の確保がなされ、実際に利用されているかである。これらに関する結果は以下の通りである。

① 住民同士が集い話し合う場（表Ⅱ－30）

「経営者層」では、集まる場所は「ある」が約9割を占め高い割合。具体的には「公民館」が61.5％、「集会所自治会館」が38.5％を占めている。合計の値と比較すると、「ある」とする割合、「公民館」が高い。集まる場所に関する困りごとでは「特にない」が58.6％と高い割合。それぞれの項目も合計値と同じか低い割合が多い。

「ホワイトカラー層」では、集まる場所が「ある」が85％と高い割合。具体的には「公民館」が51％、「集会所自治会館」が42.7％を占めている。合計の値と比較すると、「公民館」は低い割合となっている。集まる場所に関する困りごとでは「特にない」が60.2％と高い割合。それぞれの項目も合計値と同じか低い割合が多い。

「ブルーカラー層」では、集まる場所が「ある」が84％と高い割合。具体的には

「公民館」が52.4%、「集会所自治会館」が46%を占めている。合計の値と比較すると、「集会所自治会館」「小学校」「中学校」「保育所」が高い割合となっている。集まる場所に関する困りごとでは「特にない」が56%と高い割合。それぞれの項目では「コピーや印刷できる設備がない」が高い割合であるが、おおむね合計値と同じかそれより低い値が多い。

「不安定雇用者層」では、集まる場所が「ある」が83.5%と高い割合。具体的には「公民館」が56.4%、「集会所自治会館」が41.6%を占めている。合計の値と比較すると、「小学校」が高い割合となっている。集まる場所に関する困りごとでは「特にない」が57%と高い割合。それぞれの項目では「車イスで利用しにくい」が高い割合である。

「自営業者層」では、集まる場所が「ある」が87.4%と高い割合。具体的には「公

民館」が57.2%、「集会所自治会館」が43.8%を占めている。合計の値と比較すると、「コミュニティセンター」が高い割合となっている。集まる場所に関する困りごとでは「特にない」が59.5%と高い割合。それぞれの項目では「駐車場がない・狭い・遠い」が高い割合であるが、それ以外の項目では合計値と同じ割合となっている。

「無業者層」では、集まる場所が「ある」とする場合は「公民館」が約6割、「集会所自治会館」が35.9%を占めている。合計の値と比較すると、「参加していない」が高い割合であり、「ある」は低い。また「ある」場合は具体的には「小学校」が高い割合となっている。集まる場所に関する困りごとでは「特にない」が54.8%となっている。それぞれの項目では合計値とほぼ同じ割合である。

表Ⅱ－30 階層構成別にみた集まる場所（複数回答）

	総 数	な い	参 加 し て い な い	あ る	公 民 館	集 会 所 自 治 会 館	コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	小 学 校
合 計	100% 823	(6.2) 51	(10.4) 86	(83.4) 686	56.6 388	41.0 281	9.0 62	5.8 40
経 営 者 層	100% 29		(10.3) 3	(89.7) 26	61.5 16	38.5 10	11.5 3	3.8 1
ホワイトカラー層	100% 113	(7.1) 8	(8.0) 9	(85.0) 96	51.0 49	42.7 41	5.2 5	6.3 6
ブルーカラー層	100% 75	(5.3) 4	(10.7) 8	(84.0) 63	52.4 33	46.0 29	6.3 4	19.0 12
不安定雇用者層	100% 121	(5.8) 7	(10.7) 13	(83.5) 101	56.4 57	41.6 42	9.9 10	8.9 9
自 営 業 者 層	100% 222	(5.0) 11	(7.7) 17	(87.4) 194	57.2 111	43.8 85	12.9 25	4.6 9
無 業 者 層	100% 263	(8.0) 21	(13.7) 36	(78.3) 206	59.2 122	35.9 74	7.3 15	1.5 3

階層構成別にみた集まる場所の困りごと（複数回数）

	総 数	駐 車 場 が な い ・ 狭 い	コ ピ ー や 印 刷 で き る 設 備 が な い	車 い す で 利 用 し に く い	階 段 が 大 変	ト イ レ が 使 い に く い ・ 少 な い	冷 暖 房 の 設 備 が 不 十 分	狭 い 集 会 室 が 少 な い	調 理 で き る 設 備 が 不 備 で あ る
合 計	100% 823	4.7 39	4.0 33	3.5 29	3.4 28	2.6 21	2.4 20	1.8 15	1.7 14
経 営 者 層	100% 29		6.9 2	3.4 1		6.9 2	3.4 1	3.4 1	
ホワイトカラー層	100% 113	2.7 3	4.4 5	4.4 5	2.7 3	3.5 4	2.7 3	2.7 3	0.9 1
ブルーカラー層	100% 75	4.0 3	8.0 6	1.3 1	1.3 1			2.7 2	1.3 1
不安定雇用者層	100% 121	5.0 6	5.8 7	6.6 8	2.5 3	4.1 5	1.7 2	1.7 2	2.5 3
自 営 業 者 層	100% 222	7.2 16	4.1 9	3.6 8	5.0 11	4.1 9	5.0 11	2.3 5	3.2 7
無 業 者 層	100% 263	4.2 11	1.5 4	2.3 6	3.8 10	0.4 1	1.1 3	0.8 2	0.8 2

中 学 校	町 民 セ ン タ ー	老 人 福 祉 セ ン タ ー	保 育 所	自 宅	市 役 所 ・ 支 所	図 書 館	寺 社	勤 労 者 福 祉 会 館	そ の 他
2.0 14	2.0 14	1.9 13	1.7 12	1.5 10	1.2 8	1.0 7	0.9 6	0.7 5	7.3 50
3.8 1	3.8 1								11.5 3
4.2 4	1.0 1	3.1 3	2.1 2						5.2 5
6.3 4	1.6 1		11.1 7		1.6 1	1.6 1			4.8 3
1.0 1	3.0 3	1.0 1	2.0 2	2.0 2	1.0 1			1.0 1	6.9 7
2.1 4	3.6 7	1.0 2	0.5 1	1.5 3	2.6 5	2.1 4	0.5 1	1.0 2	8.8 17
	0.5 1	3.4 7		2.4 5	0.5 1	1.0 2	2.4 5	1.0 2	7.3 15

掃 除 や 管 理 が め ん ど う	相 談 で き る 職 員 や 管 理 者 が い な い	利 用 で き る 時 間 帯 が 合 わ な い	資 料 な ど を 保 管 す る 場 所 が な い	他 の 行 事 や 活 動 が あ る と 利 用 で き な い	利 用 の 目 的 が 限 ら れ て い る	利 用 料 が 高 い	利 用 の 手 続 き が め ん ど う	そ の 他	特 に な い
1.5 12	1.3 11	1.2 10	1.2 10	1.1 9	1.0 8	1.0 8	0.9 7	2.8 23	57.4 472
	3.4 1	3.4 1			3.4 1	3.4 1	3.4 1		58.6 17
	0.9 1		1.8 2	2.7 3		0.9 1		3.5 4	60.2 68
	1.3 1	1.3 1	1.3 1		1.3 1	1.3 1	1.3 1	5.3 4	56.0 42
3.3 4	0.8 1	2.5 3	1.7 2	0.8 1			0.8 1	1.7 2	57.0 69
2.3 5	2.3 5	1.4 3	1.8 4	0.9 2	1.4 3	0.9 2	1.4 3	1.4 3	59.5 132
1.1 3	0.8 2	0.8 2	0.4 1	1.1 3	1.1 3	1.1 3	0.4 1	3.8 10	54.8 144

② くらしや福祉に関するサービスの認知と利用状況(表Ⅱ－31、表Ⅱ－32、図Ⅱ－2)

「経営者層」では、くらしや福祉に関わる機関やサービスに対する認知は「知っているものがある」が100％となっている。多くの項目が高い割合であり、合計値と比較するとほぼ全ての項目で高い割合となっている。一方、利用状況では使ったことが「ある」の割合が72.4％。具体的には「市役所・支所」71.4％「病院・診療所」61.9％などが高いが、合計値と比べると「使ったものがない」が高く、「社会福祉協議会」「老人福祉施設」「デイサービスセンター」「学童保育所」などは高い割合となっている。

「ホワイトカラー層」では、くらしに関わる機関やサービスに対する認知は「知っているものがある」が98.2％と高い割合となっている。具体的には「市役所・支所」91.9％、「病院・診療所」89.2％、「南丹保健所」68.5％、「保育所」64％、「民生児童委員」55％、「デイサービスセンター」と「シルバー人材センター」50.5％などが5割を超えて高い。合計値と比較するとほぼ全ての項目で高い割合となっている。利用状況では使ったことが「ある」の割合が76.1％。具体的には「病院・診療所」79.1％、「市役所・支所」70.9％などが高い。合計値と比べると「使ったものがない」が高いが、「南丹保健所」「保健福祉センター」「南丹市子育て発達支援センター」「病院・診療所」「老人福祉施設」「保育所」「学童保育所」「幼稚園」などの項目は高い割合となっている。

「ブルーカラー層」では、くらしに関わる機関やサービスに対する認知は「知っているものがある」が93.3％である。具体的には「市役所・支所」94.3％、「病院・診療所」78.6％、「保育所」58.6％、「社会福祉協議会」57.1％、「南丹保健所」54.3％などが5割を超えて高い。合計値と比較すると「知っているものがない」が高い割合となっている。知っているものでは「保健福祉センター」「子育てすこやかセンター」「南丹市子育て発達支援センター」「保育所」「学童保育所」「老人福祉センター」

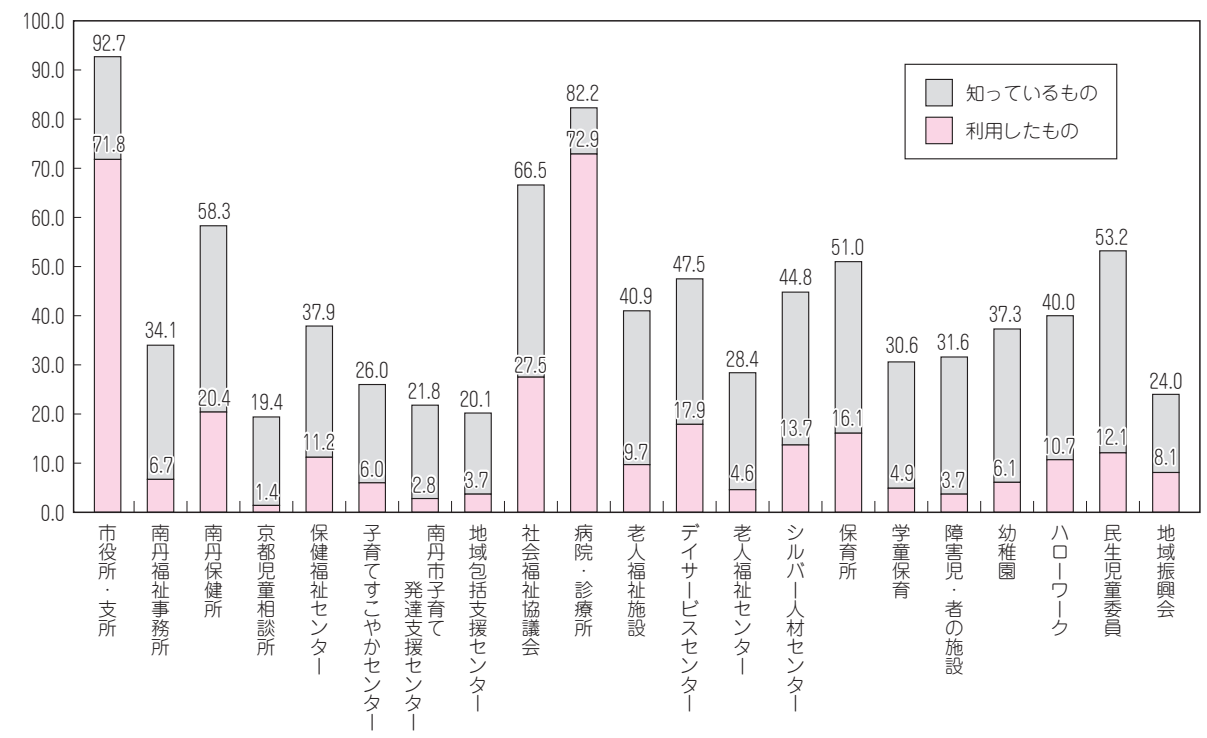
などは高い割合であるが、それ以外は低い割合のものが多い。利用状況では使ったことが「ある」の割合は81.3％。具体的には「市役所・支所」77％、「病院・診療所」63.9％などが高い。合計値と比べると「市役所・支所」「南丹保健所」「保健福祉センター」「子育てすこやかセンター」「南丹市子育て発達支援センター」など子育てに関わる機関やサービスが高い割合となっているがそれ以外は低い割合の項目が多い。

「不安定雇用者層」では、くらしに関わる機関やサービスに対する認知では「知っているものがある」が95.9％と高い割合である。具体的には「市役所・支所」96.6％、「病院・診療所」81％、「社会福祉協議会」55.2％、「南丹保健所」52.6％などが5割を超えて高い。合計値と比較すると「市役所・支所」は高い割合であるが、それ以外は低い割合のものが多い。利用状況では使ったことが「ある」の割合は77.7％。具体的には「市役所・支所」79.8％、「病院・診療所」69.1％、などが高い。合計値と比べると「市役所・支所」「南丹保健所」「子育てすこやかセンター」「老人福祉施設」「保育所」「ハローワーク」「地域振興会」などが高い割合となっているが「社会福祉協議会」や「病院・診療所」は低い割合である。

「自営業者層」では、くらしに関わる機関やサービスに対する認知は「知っているものがある」が98.2％と高い割合であり、具体的には「市役所・支所」93.1％、「病院・診療所」79.8％、「社会福祉協議会」72.5％、「南丹保健所」67％、「民生児童委員」63.3％、「保育所」58.7％、「シルバー人材センター」55％、「デイサービスセンター」52.8％など5割を超えて高い割合のものが多い。合計値と比較しても全体的に高い割合の項目が多いのが特徴。一方、利用状況では使ったことが「ある」の割合は79.3％。具体的には「市役所・支所」74.4％、「病院・診療所」73.9％、などが高い。合計値と比べると「老人福祉センター」は高い割合となっているが、それ以外はほぼ平均と同じ割合の項目が多い。

「無業者層」では、くらしに関わる機関やサービスに対する認知は「知っているものがある」が98.9％と高い割合であり、具体的には「市役所・支所」9割、「病院・診療所」83.1％、「社会福祉協議会」68.1％などが5割を超えて高い割合である。しかし、合計値と比較すると全体的に引くいか同じ割合の項目が多いのが特徴である。一方、利用状況では使ったことが「ある」の割合は81.4％、具体的には「病院・診療所」74.8％、「市役所・支所」65％などが高い。合計値と比べると「社会福祉協議会」「デイサービスセンター」「民生児童委員」など福祉に関する機関や団体は高い割合となっているが、子ども関連を中心とした他の項目は低い割合が多い。

図Ⅱ－2 公共サービスで知っているもの・利用したことのあるもの



表Ⅱ－31 階層構成別にみた公共サービスや施設で知っているもの（複数回答）

	総数	知っているものがない	知っているものがある	市役所・支所	南丹福祉事務所	南丹保健所	京都児童相談所	保健福祉センター	子育てすこやかセンター	南丹市子育て発達支援センター	地域包括支援センター
合計	100% 823	(2.3) 19	(97.7) 804	92.7 745	34.1 274	58.3 469	19.4 156	37.9 305	26.0 209	21.8 175	20.1 162
経営者層	100% 29		(100.0) 29	96.6 28	55.2 16	75.9 22	37.9 11	55.2 16	58.6 17	34.5 10	27.6 8
ホワイトカラー層	100% 113	(1.8) 2	(98.2) 111	91.9 102	36.9 41	68.5 76	26.1 29	49.5 55	35.1 39	32.4 36	25.2 28
ブルーカラー層	100% 75	(6.7) 5	(93.3) 70	94.3 66	28.6 20	54.3 38	11.4 8	41.4 29	35.7 25	30.0 21	18.6 13
不安定雇用者層	100% 121	(4.1) 5	(95.9) 116	96.6 112	28.4 33	52.6 61	18.1 21	27.6 32	26.7 31	18.1 21	17.2 20
自営業者層	100% 222	(1.8) 4	(98.2) 218	93.1 203	39.4 86	67.0 146	26.1 57	42.2 92	28.9 63	26.6 58	21.6 47
無業者層	100% 263	(1.1) 3	(98.9) 260	90.0 234	30.0 78	48.5 126	11.5 30	31.2 81	13.1 34	11.2 29	17.7 46

表Ⅱ－32 階層構成別にみた利用した公共サービスや施設（複数回答）

	総数	知っているものがない	知っているものがある	市役所・支所	南丹福祉事務所	南丹保健所	京都児童相談所	保健福祉センター	子育てすこやかセンター	南丹市子育て発達支援センター	地域包括支援センター
合計	100% 823	(20.8) 171	(79.2) 652	71.8 468	6.7 44	20.4 133	1.4 9	11.2 73	6.0 39	2.8 18	3.7 24
経営者層	100% 29	(27.6) 8	(72.4) 21	71.4 15	4.8 1	14.3 3		9.5 2	4.8 1		4.8 1
ホワイトカラー層	100% 113	(23.9) 27	(76.1) 86	70.9 61	7.0 6	27.9 24		20.9 18	8.1 7	5.8 5	5.8 5
ブルーカラー層	100% 75	(18.7) 14	(81.3) 61	77.0 47	3.3 2	27.9 17	1.6 1	16.4 10	18.0 11	8.2 5	
不安定雇用者層	100% 121	(22.3) 27	(77.7) 94	79.8 75	6.4 6	26.6 25	3.2 3	9.6 9	11.7 11	4.3 4	2.1 2
自営業者層	100% 222	(20.7) 46	(79.3) 176	74.4 131	6.3 11	19.9 35	1.7 3	10.8 19	4.5 8	2.3 4	2.3 4
無業者層	100% 263	(18.6) 49	(81.4) 214	65.0 139	8.4 18	13.6 29	0.9 2	7.0 15	0.5 1		5.6 12

社会福祉協議会	病院・診療所	老人福祉施設	デイサービスセンター	老人福祉センター	シルバー人材センター	保育所	学童保育	障害児・者の施設	幼稚園	ハローワーク	民生児童委員	地域振興会	その他
66.5 535	82.2 661	40.9 329	47.5 382	28.4 228	44.8 360	51.0 410	30.6 246	31.6 254	37.3 300	40.0 322	53.2 428	24.0 193	1.6 13
82.8 24	79.3 23	48.3 14	62.1 18	37.9 11	72.4 21	62.1 18	51.7 15	48.3 14	55.2 16	55.2 16	62.1 18	27.6 8	3.4 1
64.9 72	89.2 99	45.0 50	50.5 56	27.9 31	50.5 56	64.0 71	46.8 52	41.4 46	44.1 49	45.0 50	55.0 61	23.4 26	0.9 1
57.1 40	78.6 55	37.1 26	41.4 29	24.3 17	37.1 26	58.6 41	35.7 25	28.6 20	35.7 25	48.6 34	42.9 30	22.9 16	1.4 1
55.2 64	81.0 94	37.9 44	38.8 45	22.4 26	32.8 38	44.8 52	25.9 30	25.0 29	32.8 38	34.5 40	40.5 47	23.3 27	
72.5 158	79.8 174	46.8 102	52.8 115	38.1 83	55.0 120	58.7 128	40.8 89	38.5 84	46.8 102	48.6 106	63.3 138	25.7 56	2.8 6
68.1 177	83.1 216	35.8 93	45.8 119	23.1 60	38.1 99	38.5 100	13.5 35	23.5 61	26.9 70	29.2 76	51.5 134	23.1 60	1.5 4

社会福祉協議会	病院・診療所	老人福祉施設	デイサービスセンター	老人福祉センター	シルバー人材センター	保育所	学童保育	障害児・者の施設	幼稚園	ハローワーク	民生児童委員	地域振興会	その他
27.5 179	72.9 475	9.7 63	17.9 117	4.6 30	13.7 89	16.1 105	4.9 32	3.7 24	6.1 40	10.7 70	12.1 79	8.1 53	0.3 2
33.3 7	61.9 13	19.0 4	38.1 8		14.3 3	14.3 3	9.5 2	4.8 1	4.8 1		14.3 3	4.8 1	
23.3 20	79.1 68	12.8 11	15.1 13	2.3 2	14.0 12	31.4 27	10.5 9	2.3 2	14.0 12	12.8 11	5.8 5	4.7 4	
18.0 11	63.9 39	3.3 2	8.2 5	1.6 1	3.3 2	19.7 12	8.2 5	3.3 2	6.6 4	13.1 8	6.6 4	4.9 3	
24.5 23	69.1 65	13.8 13	16.0 15	3.2 3	14.9 14	20.2 19	6.4 6	3.2 3	7.4 7	19.1 18	9.6 9	12.8 12	
26.7 47	73.9 130	9.1 16	15.3 27	9.7 17	15.9 28	18.2 32	4.5 8	5.7 10	6.8 12	11.4 20	11.4 20	7.4 13	0.6 1
33.2 71	74.8 160	7.9 17	22.9 49	3.3 7	14.0 30	5.6 12	0.9 2	2.8 6	1.9 4	6.1 13	17.8 38	9.3 20	0.5 1

(5) 三つの条件の関係

ここでは、(ア)くらしの基盤と、(イ)くらしを支える条件、(ウ)国・自治体による社会保障・社会福祉の関係についてさらに分析を進める。

① 相談相手・地域活動と公的機関やサービスで知っているもの・利用したもの
(表Ⅱ－33、表Ⅱ－34)

相談相手が「いない」世帯で知っているものは「市役所・支所」「病院・診療所」が7割を超えている。しかし、合計値と比較すると「知っているものがない」割合が高い。これは「利用したことがあるもの」でも同一の傾向であり、「使ったものがない」割合が31.7%と高い。

表Ⅱ－33 相談相手の類型別にみた公的機関やサービスで知っているもの

	総数	市役所・支所	南丹福祉事務所	南丹保健所	京都児童相談所	保健福祉センター	子育てすこやかセンター	南丹市子育て発達支援センター	地域包括支援センター	社会福祉協議会	病院・診療所
合 計	100% 823	90.5 745	33.3 274	57.0 469	19.0 156	37.1 305	25.4 209	21.3 175	19.7 162	65.0 535	80.3 661
い な い	100% 63	87.3 55	27.0 17	36.5 23	15.9 10	22.2 14	17.5 11	14.3 9	14.3 9	52.4 33	73.0 46
身 内 の み	100% 295	91.9 271	29.5 87	59.7 176	16.3 48	38.0 112	23.7 70	19.0 56	14.6 43	62.4 184	74.2 219
市 役 所 や 専 門 職 の み	100% 43	86.0 37	53.5 23	53.5 23	25.6 11	30.2 13	25.6 11	20.9 9	25.6 11	65.1 28	88.4 38
身内と知人・友人	100% 219	91.3 200	29.7 65	62.1 136	20.5 45	38.4 84	29.7 65	24.2 53	19.2 42	67.6 148	88.1 193
身内と地域の方や 専 門 職 な ど	100% 203	89.7 182	40.4 82	54.7 111	20.7 42	40.4 82	25.6 52	23.6 48	28.1 57	70.0 142	81.3 165

表Ⅱ－34 相談相手の類型別にみた公的機関やサービスで利用したことのあるもの

	総数	市役所・支所	南丹福祉事務所	南丹保健所	京都児童相談所	保健福祉センター	子育てすこやかセンター	南丹市子育て発達支援センター	地域包括支援センター	社会福祉協議会	病院・診療所
合 計	100% 823	56.9 468	5.3 44	16.2 133	1.1 9	8.9 73	4.7 39	2.2 18	2.9 24	21.7 179	57.7 475
い な い	100% 63	49.2 31	1.6 1	7.9 5	1.6 1	6.3 4	1.6 1	1.6 1	3.2 2	11.1 7	44.4 28
身 内 の み	100% 295	53.9 159	3.1 9	15.6 46	0.7 2	9.2 27	5.8 17	1.7 5	0.7 2	19.0 56	51.2 151
市 役 所 や 専 門 職 の み	100% 43	58.1 25	16.3 7	18.6 8		4.7 2	2.3 1			20.9 9	62.8 27
身内と知人・友人	100% 219	60.7 133	3.2 7	19.6 43	0.9 2	9.1 20	5.5 12	3.7 8	3.7 8	19.6 43	67.6 148
身内と地域の方や 専 門 職 な ど	100% 203	59.1 120	9.9 20	15.3 31	2.0 4	9.9 20	3.9 8	2.0 4	5.9 12	31.5 64	59.6 121

地域「活動に参加していない」類型も、合計値と比較すると「知っているものがない」、「使ったことがない」割合がともに高い。

② 相談相手とくらしの面での困りごと・健康状態
(i) 相談相手の類型別にみたくらしの面での困りごと (表Ⅱ－35)

相談相手の有無や相談相手の類型別にみたくらしの面での困りごとにおいて特徴的なのは相談相手が「いない」世帯では多くの項目で合計値より高い項目が目立つ点である。例えば、くらしの面での困りごとの有無については76.2%が「ある」と回答している。また、くらしの基盤に関わる項目では、「保険料(税)が高い」33.3%、「税金が高い」29.2%、「収入が不安定」22.9%、「賃金・事業収入が

老人福祉施設	デイサービスセンター	老人福祉センター	シルバー人材センター	保育所	学童保育	障害児・者の施設	幼稚園	ハローワーク	民生児童委員	地域振興会	その他	知らないもの
40.0 329	46.4 382	27.7 228	43.7 360	49.8 410	29.9 246	30.9 254	36.5 300	39.1 322	52.0 428	23.5 193	1.6 13	2.3 19
27.0 17	34.9 22	25.4 16	31.7 20	36.5 23	15.9 10	19.0 12	28.6 18	30.2 19	34.9 22	19.0 12		7.9 5
40.0 118	40.3 119	25.1 74	44.4 131	49.8 147	29.2 86	26.8 79	35.6 105	40.0 118	49.5 146	20.0 59	1.0 3	2.0 6
39.5 17	44.2 19	30.2 13	39.5 17	51.2 22	34.9 15	37.2 16	34.9 15	41.9 18	51.2 22	30.2 13	4.7 2	
46.6 102	53.9 118	31.5 69	46.6 102	57.1 125	36.5 80	39.3 86	41.6 91	41.1 90	55.3 121	21.0 46	1.8 4	2.3 5
36.9 75	51.2 104	27.6 56	44.3 90	45.8 93	27.1 55	30.0 61	35.0 71	37.9 77	57.6 117	31.0 63	2.0 4	1.5 3

老人福祉施設	デイサービスセンター	老人福祉センター	シルバー人材センター	保育所	学童保育	障害児・者の施設	幼稚園	ハローワーク	民生児童委員	地域振興会	その他	使ったものがない
7.8 64	14.2 117	3.6 30	10.8 89	12.8 105	3.9 32	2.9 24	4.9 40	8.5 70	9.6 79	6.4 53	0.2 2	20.8 171
6.3 4	9.5 6	4.8 3	3.2 2	9.5 6		1.6 1	3.2 2	7.9 5	1.6 1	4.8 3		31.7 20
7.5 22	7.1 21	2.7 8	11.5 34	11.5 34	3.1 9	1.4 4	5.4 16	8.1 24	7.8 23	3.7 11		24.7 73
7.0 3	23.3 10	4.7 2	9.3 4	11.6 5		4.7 2	2.3 1	4.7 2	9.3 4	7.0 3		16.3 7
8.2 18	17.4 38	2.7 6	10.5 23	16.4 36	7.8 17	3.7 8	4.1 9	8.2 18	6.4 14	4.6 10	0.5 1	16.4 36
8.4 17	20.7 42	5.4 11	12.8 26	11.8 24	3.0 6	4.4 9	5.9 12	10.3 21	18.2 37	12.8 26	0.5 1	17.2 35

低い」20.8%などが高い割合となっている。合計値と比較して高い項目では「保険料（税）が高い」、「税金が高い」、「収入が不安定」、「賃金・事業収入が低い」、「就職が困難」、「仕事の後継者がいない」「結婚が難しい」「働き手の死亡」「移動が困難」など深刻な内容が多い。くらしを支える条件の項目では、「相談相手がない」が合計値と比べ割合が高く、さらに、国・自治体による社会保障・社会福祉では「医療費が高い」27.1%、「老後のこと」25%、「年金が少ない」22.9%、「通院が困難」20.8%などが高い割合。合計値と比較すると、「医療費が高い」「入

表Ⅱ－35 相談相手の類型別にみたくらしの面での困りごと

	総 数	ない	ある	くらしの基盤															
				収入が不安定	賃金、事業収入が低い	自由な時間や休日が少ない	通勤に時間がかかる	就職が困難	仕事の後継者がいない	失業や事業の不振	働き手の死亡	労働時間が長い	税金が高い	物価が高い	災害時のそなえ	通院が困難	療養機関が近くにない	安心してかかれる医療機関	子どもの通学・通園
合 計	100% 823	(25.0) 206	(75.0) 617	17.5 108	13.3 82	7.6 47	7.5 46	6.8 42	6.5 40	6.0 37	5.0 31	4.4 27	22.2 137	13.8 85	13.3 82	19.9 123	16.5 102	5.3 33	2.8 17
い な い	100% 63	(23.8) 15	(76.2) 48	22.9 11	20.8 10	10.4 5	8.3 4	10.4 5	10.4 5	6.3 3	12.5 6	6.3 3	29.2 14	16.7 8	12.5 6	20.8 10	14.6 7	4.2 2	8.3 4
身 内 の み	100% 295	(30.5) 90	(69.5) 205	17.1 35	10.7 22	7.3 15	4.4 9	5.4 11	5.4 11	4.9 10	5.4 11	5.4 11	21.0 43	9.8 20	7.3 15	14.6 30	16.6 34	3.9 8	2.9 6
市 役 所 や 専 門 職 の み	100% 43	(34.9) 15	(65.1) 28	17.9 5	10.7 3		3.6 1	7.1 2		7.1 2	3.6 1		7.1 2	10.7 3	7.1 2	10.7 3			
身内と知人・友人	100% 219	(19.6) 43	(80.4) 176	17.6 31	17.0 30	10.2 18	8.5 15	9.7 17	9.7 17	8.0 14	4.0 7	6.3 11	28.4 50	15.9 28	17.6 31	17.6 31	14.2 25	6.3 11	0.6 1
身内と地域の方や 専 門 職 な ど	100% 203	(21.2) 43	(78.8) 160	16.3 26	10.6 17	5.6 9	10.6 17	4.4 7	4.4 7	5.0 8	3.8 6	1.3 2	17.5 28	16.3 26	17.5 28	30.6 49	22.5 36	7.5 12	3.8 6

表Ⅱ－36 相談相手の類型別にみた生計中心者の健康状態

	総 数	る 具合の悪いところがある	身体的疲れによる症状										タバコがやめられない
			血圧が高い・低い	肩・首すじがこる	背中や腰が痛い・だるい	ひざが痛い	歯が悪い・虫歯がある	足が重い・だるい	あまり歩かない	痛い	腕や手がしびれる・	どつきやいぎざれ	目まいがする
合 計	100% 823	(75.7) 623	32.3 201	26.3 164	24.2 151	18.3 114	17.7 110	15.9 99	14.3 89	11.4 71	4.7 29	4.2 26	19.1 119
い な い	100% 63	(74.6) 47	31.9 15	36.2 17	31.9 15	17.0 8	25.5 12	21.3 10	17.0 8	17.0 8	6.4 3	10.6 5	25.5 12
身 内 の み	100% 295	(68.1) 201	33.3 67	26.4 53	25.4 51	15.9 32	15.4 31	18.9 38	11.4 23	11.4 23	4.5 9	3.5 7	20.9 42
市 役 所 や 専 門 職 の み	100% 43	(69.8) 30	33.3 10	16.7 5	23.3 7	6.7 2	3.3 1	3.3 1	6.7 2	10.0 3	3.3 1	3.3 1	10.0 3
身内と知人・友人	100% 219	(81.7) 179	33.5 60	27.9 50	25.7 46	18.4 33	17.9 32	14.5 26	22.3 40	9.5 17	4.5 8	2.2 4	19.0 34
身内と地域の方や 専 門 職 な ど	100% 203	(81.8) 166	29.5 49	23.5 39	19.3 32	23.5 39	20.5 34	14.5 24	9.6 16	12.0 20	4.8 8	5.4 9	16.9 28

院費用がかかる」などの割合が高い。くらしの中身については「生計中心者の病気・事故」31.3%、「家族の病気・事故」27.1%、「貯金ができない」20.8%などが高い割合である。合計値と比較すると「生計中心者の病気・事故」、「家族の病気・事故」、「借金・ローンの返済」、「家計の赤字」、「住まいのこと」、「家庭での対話が少ない」などが高い。

(ii) 相談相手の類型別にみた生計中心者の健康状態表（Ⅱ－36）

また、相談相手の有無によって生計中心者の健康状態には違いがあらわれている。相談相手が「いない」世帯では多くの項目で合計値より高い割合となっている。

くらしを支える条件				国・自治体による 社会保障・社会福祉				くらしの中身															
出るのがむずかしい	地域での共同作業にかしい	近所づきあいがむずかしい	家庭での対話が少ない	相談相手がない	老後のこと	年金が少ない	保険料（税）が高い	医療費が高い	入院費用がかかる	生計中心者の病気・事故	家族の病気・事故	者の介護	病人や老人・障がい	貯金ができない	借金・ローンの返済	家計の赤字	子どもの教育・進学	子育てのこと	結婚が難しい	住まいのこと	食生活のこと	炊事・洗濯・掃除などの家事	その他
7.8 48	6.5 40	4.4 27	3.6 22	32.3 199	25.9 160	20.6 127	15.9 98	6.2 38	28.2 174	23.2 143	10.4 64	21.2 131	11.3 70	9.6 59	8.8 54	6.0 37	6.5 40	4.5 28	4.5 28	4.2 26	1.9 12		
10.4 5	8.3 4	14.6 7	10.4 5	25.0 12	22.9 11	33.3 16	27.1 13	14.6 7	31.3 15	27.1 13	4.2 2	20.8 10	16.7 8	14.6 7	6.3 3	8.3 4	12.5 6	10.4 5	6.3 3	4.2 2	6.3 3		
6.3 13	7.3 15	2.9 6	3.4 7	30.2 62	26.8 55	18.0 37	14.6 30	5.9 12	19.0 39	16.1 33	6.8 14	19.5 40	10.2 21	6.3 13	7.3 15	6.3 13	5.4 11	2.9 6	2.9 6	2.0 4			
7.1 2	7.1 2			25.0 7	32.1 9	17.9 5	10.7 3	3.6 1	35.7 10	28.6 8	21.4 6	10.7 3	3.6 1	7.1 2			7.1 2		7.1 2	3.6 1	3.6 1		
11.9 21	5.1 9	4.0 7	4.0 7	35.2 62	22.2 39	23.9 42	17.0 30	5.1 9	32.4 57	22.7 40	13.1 23	27.8 49	11.4 20	13.6 24	13.6 24	9.7 17	6.3 11	4.5 8	4.0 7	5.1 9	0.6 1		
4.4 7	6.3 10	4.4 7	1.9 3	35.0 56	28.8 46	16.9 27	13.8 22	5.6 9	33.1 53	30.6 49	11.9 19	18.1 29	12.5 20	8.1 13	7.5 12	1.9 3	6.3 10	5.6 9	6.3 10	6.3 10	4.4 7		

精神的ストレスによる症状															どこも悪くない
眼が疲れる	疲れがとれない	からだがだるい	これから先どうなるの不安である	夜12時過ぎに寝ることが多い	物忘れをすることが多い	夜よく眠れない	胃腸の調子がよくない	朝、気分よく起きられない	イライラしやすい	ささいなことが気になる	人と話すのがおっくうである	その他	医者に診てもらっている		
18.9 118	19.3 120	14.8 92	14.6 91	13.5 84	13.5 84	11.6 72	10.1 63	9.1 57	8.3 52	6.7 42	4.7 29	5.5 34	51.8 323	(24.3) 200	
25.5 12	34.0 16	38.3 18	29.8 14	21.3 10	21.3 10	25.5 12	17.0 8	27.7 13	14.9 7	14.9 7	8.5 4	6.4 3	46.8 22	(25.4) 16	
19.9 40	18.4 37	13.9 28	11.9 24	10.4 21	12.9 26	8.5 17	9.5 19	6.5 13	7.5 15	6.0 12	5.0 10	5.5 11	50.2 101	(31.9) 94	
10.0 3	16.7 5	6.7 2	13.3 4		10.0 3	10.0 3	10.0 3	10.0 3	3.3 1	10.0 3			60.0 18	(30.2) 13	
19.0 34	22.9 41	13.4 24	11.2 20	16.8 30	16.2 29	7.8 14	12.3 22	6.7 12	9.5 17	5.0 9	5.0 9	6.7 12	50.8 91	(18.3) 40	
17.5 29	12.7 21	12.0 20	17.5 29	13.9 23	9.6 16	15.7 26	6.6 11	9.6 16	7.2 12	6.6 11	3.6 6	4.8 8	54.8 91	(18.2) 37	

特に「めまいがする」や「人と話すのがおっくうである」などの深刻な症状を訴える割合が高いのが特徴的である。

③ 相談相手・活動別にみた身近な地域で日頃何とかしなければならないと思っていること

相談相手の有無や地域活動への参加の状況によって、定住意識や身近な地域で日頃何とかしなければならないと思っていることには違いがあらわれる。

(i) 定住意識（表Ⅱ－37）

相談相手が「いない」世帯では、合計値と比較して「引越したい」の割合が高い。また、地域活動に「参加していない」世帯、「町内会のみ」の世帯も「引っ越したい」や「わからない」の割合が高のが特徴である。

表Ⅱ－37 相談相手の類型別にみた定住意識

	総 数	住 み つ づ け たい	引 越 し た い	わ か ら な い	そ の 他
合 計	100% 823	77.2 635	9.1 75	12.6 104	1.1 9
い な い	100% 63	73.0 46	14.3 9	11.1 7	1.6 1
身 内 の み	100% 295	76.6 226	7.5 22	14.2 42	1.7 5
市 役 所 や 専 門 職 の み	100% 43	81.4 35	9.3 4	9.3 4	
身 内 と 知 人 ・ 友 人	100% 203	82.8 168	5.9 12	10.3 21	1.0 2
身内と地域の方や専門職など	100% 219	73.1 160	12.8 28	13.7 30	0.5 1

(ii) 地域で日頃何とかしなければならないと思っていること（表Ⅱ－38）

相談相手が「いない」「身内のみ」「市役所や専門職のみ」の類型では「特にない」が合計値に比べ高い。具体的な項目として「いない」は国・自治体による社会保障・社会福祉に関する「往診をしてくれる医療機関が身近にない」「くらしや福祉のことで気軽に相談できる窓口が少ない」「くらしや医療・福祉のことで利用できる機関・施設が少ない」「特別養護老人ホームや老人保健施設が少ない」「くらしや福祉のことで気軽に相談できる窓口が減って困った」などの項目が合計値に比べ高いものが多い。くらしを支える条件では「住民相互のまとまりや助け合いが乏しい」が高い割合となっている。一方、「身内と知人・友人」「身内と地域の方や専門職など」の類型では、くらしの基盤の多くの項目、くらしの中身に関する項目で高い割合のものが多い。

地域活動にみえてみると、「参加していない」では、「特にない」が3割。「ボランティアやNPOなど」「くらしに関する学習会など」に参加している類型では、多くの項目が合計値より高い割合となっている。

以上のことから以下の点が明らかとなった。

- (i) くらしの基盤が不十分や不安定である階層ほど、身近な集える施設を利用している割合が低く、くらしや福祉に関わるサービス認知も低い。従って利用も限られている。
- (ii) くらしの基盤が不十分や不安定である階層ほど、近所付き合いが乏しく、相談相手も限られ、また地域活動への参加なども少ないなど、日頃から住民同士の交流の機会や対話の機会が乏しい（くらしを支える条件が乏しい）。
- (iii) くらしを支える条件の中でも、くらし・社会福祉に関するボランティアやNPOなどの活動、学習会などは地域の課題を認識し、その解決に向けた取り組みを進めるための基本的な条件となっている。
- (iv) 地域活動への参加の内容や度合いが、となり近所とのつきあいの程度や相談相手の広がりの規定している条件となっている。
- (v) くらしを支える条件が、くらしや福祉に関わるサービスの認知や利用と結びついている。
- (vi) くらしを支える条件によって、定住意識、地域での課題のとらえ方に違いがある。
- (vii) くらしを支える条件が乏しいと、「地域で何とかしなければならないと思っていること」の割合があまり高くないように、問題になる実態があっても共通の課題として出てきにくい。
- (viii) くらしを支える条件が乏しいと、自己責任でのくらしの課題の解決を迫られ、結果くらしの面で様々な困りごとが出てこざるを得なくなる。

このように、すみなれた地域で自立して生活を営むための条件は、くらしの基盤、くらしを支える条件、国・自治体による条件の整備といった三つの相互関係によって左右され生み出されることが明らかとなったが、これらの相互関係については既に図Ⅰ－1によって調査の枠組みとして示しているところであるので、参照されたい。

表Ⅱ－38 相談相手の類型別にみた日頃身近な地域の中で何とかしなければならないと考えていること

	総 数	く　ら　し　の　基　盤																							
		交通が不便	鳥獣による被害	地元に通き口やしことが少ない	買い物が不便	子どもがいない少ない	夜道が暗い・街灯がない	交通機関が少ない	高齢者や障がい者が安心して利用できる	地元の農業や商工業の振興	山林農地の荒廃	物価が高い	ごみの処理・不法投棄	子どもの遊び場や公園、スポーツをする場所が少ない	道路が狭い	保育所や幼稚園、学校が遠い	路上駐車が多い	誰でも安心して往き来できる歩道が少ない・段差がある	保育所や学校が減った	公害・河川の汚染・悪臭	騒音が激しい	乱開発の防止	雪かき・除草がたいへん	転出・過疎・人口減少	交通事故が多い
合　　計	100% 823	37.4 308	31.0 255	29.0 239	27.6 227	24.8 204	16.5 136	15.3 126	13.1 108	12.5 103	11.8 97	11.2 92	10.2 84	7.8 64	6.9 57	6.1 50	5.6 46	4.6 38	4.6 38	3.9 32	2.4 20	1.7 14	1.5 12	1.5 12	1.3 11
い　　な　　い	100% 63	30.2 19	23.8 15	20.6 13	28.6 18	12.7 8	17.5 11	9.5 6	9.5 6	15.9 10	14.3 9	9.5 6	1.6 1	9.5 6	4.8 3	11.1 7	1.6 1	1.6 1	3.2 2	3.2 2	1.6 1	3.2 2		1.6 1	1.6 1
身　内　の　み	100% 295	33.2 98	29.2 86	25.4 75	27.1 80	22.7 67	15.6 46	12.2 36	12.5 37	10.8 32	8.5 25	10.2 30	8.1 24	6.4 19	5.8 17	6.1 18	4.7 14	3.7 11	4.4 13	4.4 13	2.4 7	1.7 5	2.4 7	2.4 7	1.4 4
市　役　所　や 専　門　職　の　み	100% 43	32.6 14	25.6 11	23.3 10	20.9 9	25.6 11	11.6 5	11.6 5	9.3 4	7.0 3	7.0 3	4.7 2	9.3 4	9.3 4		7.0 3	2.3 1	2.3 1	2.3 1			2.3 1			
身内と知人・友人	100% 203	47.8 97	37.9 77	39.4 80	34.0 69	30.5 62	14.3 29	21.2 43	17.2 35	16.7 34	14.3 29	14.3 29	12.3 25	8.9 18	10.8 22	5.9 12	8.4 17	6.9 14	6.9 14	3.4 7	3.0 6	1.0 2	0.5 1	0.5 1	2.0 4
身内と地域の方や 専　門　職　な　ど	100% 219	36.5 80	30.1 66	27.9 61	23.3 51	26.9 59	20.5 45	16.4 36	11.9 26	11.0 24	14.2 31	11.4 25	13.7 30	7.8 17	6.8 15	4.6 10	5.9 13	5.0 11	3.7 8	4.6 10	2.7 6	1.8 4	1.8 4	1.4 3	0.9 2

	くらしを支える条件										国・自治体による社会保障・社会福祉										くらしの中身						その他	とくになし
	災害への対応・避難場所	若い人と高齢者との世代間交流が乏しい自治会や地域団体の役員のなり手が少ない	住み相互のまとまりや助け合いが乏しい	子どもの非行・いじめ	いつでも気軽に利用できる会議室・集会所がわからない	くらしや健康・福祉に関する学習会が少なく	近所付き合いが大変	役所や保健所などくらしにかかわる施設が遠くて不便	医師や看護師・保健師などの医療従事者が少ない	住診をしてくれる医療機関が身近にない	お年寄りが安心して気軽に利用できるサービスが少ない	窓口が少なく	くらしや福祉のことで気軽に相談できる窓口が少ない	くらしや医療・福祉のことで利用できる機関・施設が少ない	いつでも診てくれる医療機関が身近に少ない	特別養護老人ホームや老人保健施設が少なく	相談できる専門職員が少ない	障がい児や障害のある人のための施設が少ない	救急・休日・夜間の医療体制が不十分	窓口が減って困った	くらしや福祉のことで気軽に相談できる窓口が減って困った	働けなくなった高齢者のこと	障がい児・者がいる世帯のこと	くらしに困っている世帯のこと	子育ての不安をかかえている世帯のこと	母子・父子世帯のこと	その他	とくになし
1.1	14.8	12.9	7.7	4.3	2.9	2.2	0.4	20.4	15.7	10.8	9.5	8.9	8.7	7.9	7.7	7.4	5.8	17.9	2.3	26.0	14.1	12.3	6.8	6.3	5.1	1.9	0.7	13.2
9	122	106	63	35	24	18	3	168	129	89	78	73	72	65	63	61	48	147	19	214	116	101	56	52	42	16	6	109
	9.5	9.5	12.7	3.2		4.8		12.7	14.3	20.6	7.9	17.5	12.7	4.8	14.3	7.9	7.9	17.5	6.3	23.8	14.3	12.7	9.5	7.9	1.6	1.6		20.6
	6	6	8	2		3		8	9	13	5	11	8	3	9	5	5	11	4	15	9	8	6	5	1	1		13
0.3	14.9	11.9	7.5	3.7	2.7	1.4	0.7	18.3	11.9	8.1	9.2	5.8	5.4	7.5	6.1	6.4	4.1	19.3	2.4	22.4	10.5	11.5	4.7	4.4	2.7	1.4	1.0	16.3
1	44	35	22	11	8	4	2	54	35	24	27	17	16	22	18	19	12	57	7	66	31	34	14	13	8	4	3	48
2.3	14.0	23.3	9.3	4.7	4.7	4.7		16.3	4.7	4.7	7.0	7.0	11.6	2.3	9.3	7.0		9.3		18.6	11.6	7.0	2.3	4.7	4.7	2.3		16.3
1	6	10	4	2	2	2		7	2	2	3	3	5	1	4	3		4		8	5	3	1	2	2	1		7
1.0	14.8	13.8	5.9	3.4	3.9	3.0	0.5	29.1	23.2	9.9	7.9	10.3	11.8	10.8	7.9	8.9	5.9	16.7	3.0	35.0	15.3	13.8	8.9	8.4	5.9	2.0	1.0	6.4
2	30	28	12	7	8	6	1	59	47	20	16	21	24	22	16	18	12	34	6	71	31	28	18	17	12	4	2	13
2.3	16.4	12.3	7.8	5.9	2.7	1.4		18.3	16.4	13.7	12.3	9.6	8.7	7.8	7.3	7.3	8.7	18.7	0.9	24.7	18.3	12.8	7.8	6.8	8.7	2.7	0.5	12.8
5	36	27	17	13	6	3		40	36	30	27	21	19	17	16	16	19	41	2	54	40	28	17	15	19	6	1	28